スマート農業技術を活用した発情発見手法の改善（釧路農業改良普及センター釧路東部支所）

背　景

【厚岸町の概要】

〇北海道東部に位置する酪農専業地帯

〇家族経営を主体とした酪農経営であるが、1戸当たり出荷乳量は700t/年を超え、経営の大型化が進んでいる

〇飼養頭数が増加する中で、高齢化や労働力不足が顕在化している

【地域の課題】

〇規模拡大が進み従事者１人当たりの飼養頭数が増加する中で、飼養管理・環境の改善による生乳生産の省力化・効率化が必要となっている

頭数が増えたから、全部の牛の繁殖状況が頭に入らないよ

普及活動内容

〇牛舎新築（増頭）を機にＩＣＴを活用した牛群管理システムで繁殖成績の改善を実現

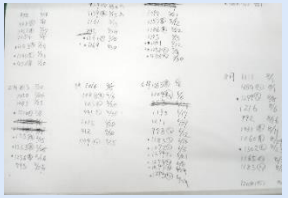


写真1
紙に書いた繁殖台帳

改善前(紙台帳と目視による観察)

・発情周期の管理が煩雑
・発情兆候の見逃し
・授精･妊娠鑑定の結果の反映に時間を要す。

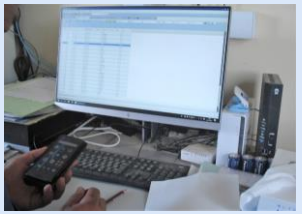


写真２
スマホに届いた、発情アラートをパソコンの牛群リストで確認

改善後(電子機器での管理)

・発情周期・発情兆候をスマホが通知
・授精・妊娠鑑定の結果がリアルタイムで牛群の動態に反映

普及の成果

【具体的な成果】

〇発情周期の追跡の効率化により、増頭後も授精適期を逸する牛が増加せず

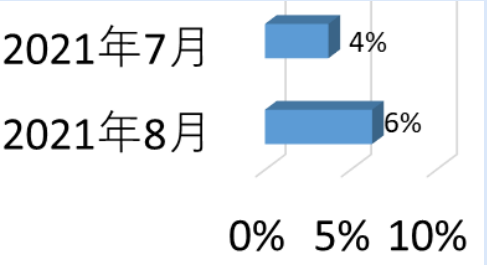
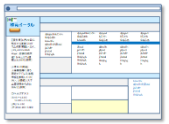


図　分娩後201日以上で未授精牛の割合(取組途中)

うちは飼養頭数が1.2倍に増えたけど、繁殖成績は現状を維持できているよ

【成果のポイント】

〇電子化された牛群管理について、農業者とともに確認したことで、その有効性が理解され繁殖成績が改善された



次回発情、はこの画面を見ればOK

（連絡先：釧路農業改良普及センター釧路東部支所　TEL　0153-65-2021）